

飯田市次世代育成支援対策地域協議会
飯田市社会福祉審議会児童福祉分科会
(飯田市版子ども・子育て会議)

- 1 日時 平成27年10月14日(水) 10:00～
- 2 場所 飯田市役所3階A301・302会議室
- 3 出席者(委員) 原委員、菅沼委員、栗塚委員、東城委員、福澤佑哉委員、岡山委員、市村委員、
福澤生子委員、榑原委員、代田委員、木村委員、今村委員、川手委員、山田委員、
黒岩委員
(事務局) 伊藤健康福祉部長、伊藤子育て支援課長、倉田子育て支援課課長補佐、養和こども家庭応援センター所長、今村子育て支援係長、堤保育係長、澤柳家庭係長、
原保健課課長補佐兼保健指導係長、熊谷産業振興課課長補佐兼労政係長、小笠原学校教育課課長補佐兼保健給食係長、近藤生涯学習・スポーツ課知育力向上係長、木村子育て支援係
(司会) 倉田子育て支援課課長補佐
- 4 任命書の交付
- 5 健康福祉部長挨拶
- 6 飯田市社会福祉審議会・児童福祉分科会について
- 7 報告事項
(1) 次世代育成支援飯田市行動計画「新すくすくプラン後期計画」について
(2) こども家庭応援センター「ゆいきっず」の運営状況について
- 8 協議事項
(1) 平成28年度教育・保育施設の利用定員について
(2) 飯田市次期総合計画及び、飯田市版総合戦略の策定について

- 9 会議内容
(1) 次世代育成支援飯田市行動計画「新すくすくプラン後期計画」について

- 議長 次世代育成支援飯田市行動計画「新すくすくプラン後期計画」について、事務局より説明をお願いします。
- 事務局 ～資料説明～
※会議次第、事前配布資料(平成26年度「新すくすくプラン後期計画」進捗状況一覧)
- 議長 事務局より説明があったが、ご意見・ご質問あるか。
- A委員 一体的な切れ目のない支援をと言っているが、りんご庁舎で乳幼児などの相談に来た時に本庁に保育係があるということで、保育園の手続きや説明など細かなことができなくてとても不便だというお母さん方の声をよく聞く。もう少し柔軟な対応をりんご庁舎でも

らえたらと思う。

- 事務局 私達としても離れていることについては課題と思い本年度は、場所が違うというPRやなるべく融通がきくように努めている。極端に不便を感じさせないように改善していきたい。
- B委員 放課後子どもクラブについて最近他の団体から、本来飯田市は6年生までの受け入れとなっていると声をもらった。自分の住んでいるところの小学校は希望者が多いので、小さい子優先ということで規定で3年生までとなっている。私自身も6年生までというのを知らない状況だった。今、受け入れて欲しいという家庭が多い中で表ではすでに進捗率100%となっていてこれ以上改善しないかのように記載されているが、もっと増やしていくことはあるのか。
- 事務局 26年度までの新すくすくプラン後期計画ではそのようになっている。次期計画において平成31年度までの中で定員を増やしていくという計画を立てている。
- 議長 他に意見が無ければ次の事項へ移る。
- こども家庭応援センター「ゆいきっず」の運営状況について、事務局より説明をお願いします。
- 事務局 ～資料説明～
※事前配布資料（飯田市こども家庭応援センターの運営状況について）
- 議長 質問・意見等あるか。
宜しければ、次の協議事項に移る。平成28年度教育・保育施設の利用定員について、事務局より説明をお願いします。
- 事務局 ～資料説明～
※当日配布資料（資料No.3）
- 議長 この件について、語りたい。これでよろしければ挙手をお願いします。
〈挙手多数〉
ではよろしければ次の協議事項へ移る。
飯田市次期総合計画及び、飯田市版総合戦略の策定について、事務局より説明をお願いします。
- 事務局 ～資料説明～
※当日配布資料（資料No.4-1,2,3,4）
- 議長 事務局より説明があったが、ご意見・ご質問あるか。
- B委員 この資料は会議用の資料だと思うが、出産可能な年齢から算出というところで（資料No.4-4 平成25年人口を基にした合計特殊出生率）15歳～19歳という枠を資料でパッと出してしまうと見た時に嫌な感じがするが市の方ではどう考えるか。
- 事務局 合計特殊出生率1.8という目標としているが、なぜ1.8なのか見えるようにとの意見を委員からいただいた。私どもとしてもイメージとして当然持っているべきと、資料を作成してお示しした。これを政策として産んでもらうということではない。あくまでも、皆さんの希望を叶えるために障害があればそれを取り除くという考えなので、その点ご理解いただきたい。

- 議長 他にご意見等はあるか。
- C委員 二点申し上げる。
まず放課後児童クラブの拡充ということで今どこでも問題になっている。認定子ども園や保育園で子どもたちが育ってきて卒園で関係は切れるが、今まで育ってきた保育園・幼稚園がお受けできれば親御さんたちも安心ではないか。うちも、場所的にも人的にもかなり無理があるが、将来の子どもたちの育ちを支えるという意味ではそのような事ができればという思いを持っている。
もう一点は、今うちの園には風越高校の保育を取っている生徒さんが何十人も見えて、子どもさんと遊んだり一緒にいろんな学びをするが、高校生がその年齢位になって小さいお子さんと遊ぶことも少ないのでとても喜ぶ姿がある。実際に今年入園の相談にみえた方が、風越の学生の時にここに来て子どもがかわいいと思ったし育てたいと思った、とご意見を頂いた。高校を過ぎると外へ出てしまうので、高校生くらいのお子さんに小さいお子さんとの関わりを持ってもらえば、子どもを持ちたい・ふるさとで育てたいという思いが出てくるのではないか。
- 事務局 放課後児童健全育成については、今現在も保育園の市内2か所で取り組んでいただいている。今の言葉は本当にありがたいと思う。予算が厳しい中であらたに児童館等の施設を建てるのは厳しい時代になっているので、そういった面も皆様にご理解いただけるとありがたい。
それから、風越高校の生徒さんの話については良い話を聞かせていただいた。高校生にとっても素晴らしい人生学習をされている。そして子どもへの理解というものがされているということで、政策の中にも非常に参考にさせていただく部分があると感じた。
- 議長 他には何かあるか。
- D委員 最後のテーマ3の説明にあった、政策1の初妊婦さんの届け出の平均年齢の見方をお聞きしたい。今が30.7歳で平成31年31.5歳、5年延びるから伸びるだろうが、年齢を若く見積もらないで少し高めになっている辺りをお聞きしたい。
- 事務局 初妊婦の妊娠届け時平均年齢は、ここ数年0.2歳のペースで上がっている。この計算で行くと平成31年には31.7歳程度に達すると見込まれる。その上昇を少しでも抑える効果を期待をして、31.5歳ということにした。
- D委員 その31.7歳ではなく31.5歳の0.2の差はなぜか。
- 事務局 その具体的な数字は持っていない。少しでもと期待をする中での31.5歳ということ。
- 議長 他にはあるか。
それでは、飯田市版総合戦略の方向性についてよろしいか。よろしければ挙手をお願いする。
〈挙手多数〉
よろしいということでお伺いした。その他で何かあるか。
それでは以上を持って、本日用意された協議事項を終了する。